

製品名: PPAR デルタ (4G5) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM00782**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 50 kDa; Observed MW: 50 kDa

抗原情報

遺伝子名	PPARD
別名	FAAR; NR1C2; NUC1; Peroxisome proliferative activated receptor delta
遺伝子 ID	5467
SwissProt ID	Q03181
免疫原	ヒト PPAR デルタの合成ペプチド

背景

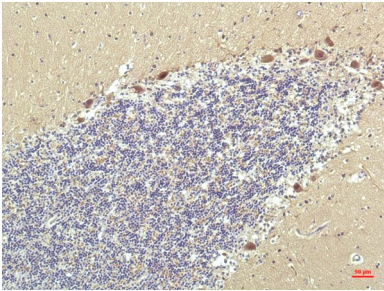
リガンド活性化転写因子。脂質低下薬や脂肪酸などのペルオキシソーム増殖因子に結合する受容体。γ-リノレン酸やエイコサペンタエン酸などの多価不飽和脂肪酸を優先的に選択する。リガンドによって活性化されると、受容体は標的遺伝子のプロモーター領域に

結合する。脂肪酸のペルオキシソーム β 酸化経路を制御する。アシル CoA 酸化酵素遺伝子の転写活性化因子として機能する。リガンドによって活性化されると、NPC1L1 の発現を低下させる。

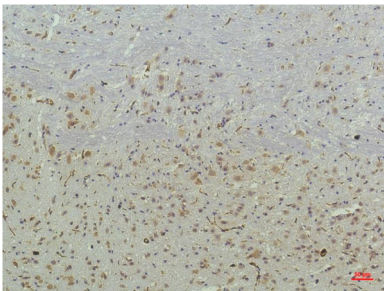
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



PPAR デルタ (4G5) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



PPAR デルタ (4G5) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。